

令和 7 年 7 月 3 0 日
第 1 回墨田区地域公共交通活性化協議会資料

令和 7 年度「墨田区地域公共交通計画」 各施策の展開について 【今年度の重点的な取組】

目次

墨田区地域公共交通計画の施策体系	・・・ P. 3
------------------	----------

【今年度の重点的な取組】

施策 2 - 1 乗り継ぎしやすい環境づくり	・・・ P. 4
------------------------	----------

施策 2 - 2 情報技術を活用したシームレスな移動の実現	・・・ P. 4
-------------------------------	----------

施策 3 - 2 新しい移動サービスの導入検討 (再掲 4 - 2)	・・・ P. 5
---------------------------------------	----------

施策 4 - 1 公共交通に対する意識の醸成 (再掲 5 - 3)	・・・ P. 6
--------------------------------------	----------

墨田区地域公共交通計画の施策体系

地域で支える 多様な交通ネットワーク ~ 誰にでもやさしく 快適に移動できるまちの実現 ~

課題・目標	
課題 1	効率的に交通資源を活用する必要がある
→ 目標 1	多様な交通ネットワークをつくる
課題 2	安全・安心に移動できる環境整備が求められている
→ 目標 2	安全・安心に移動できるまちにする
課題 3	移動に困難を抱える区民等への対応が必要である
→ 目標 3	誰にでもやさしい交通をつくる
課題 4	公共交通に行政の関与が求められている
→ 目標 4	公共交通を地域で支える
課題 5	環境負荷の軽減など時代の潮流への対応が求められている
→ 目標 5	環境に配慮した交通に転換する

公共交通施策	
1-1	鉄道駅周辺まちづくりの取組
1-2	地下鉄 8・11号延伸への取組
1-3	区内循環バス事業の見直し
1-4	シェアリングサービスの利用促進
1-5	舟運の活用
2-1	乗り継ぎしやすい環境づくり
2-2	情報技術を活用したシームレスな移動の実現
2-3	交通安全の推進
2-4	自転車等の利用環境整備
2-5	発災時における交通事業者等との連携
3-1	移動制約者に対する移動サービスの充実
3-2	新しい移動サービスの導入検討
3-3	ユニバーサルデザインに配慮した公共交通の実現
3-4	新技術を活用した交通サービスの検討
4-1	公共交通に対する意識の醸成
4-2	新しい移動サービスの導入検討（再掲：3-2）
5-1	環境配慮型車両の導入促進
5-2	自転車等の利用環境整備（再掲：2-4）
5-3	公共交通に対する意識の醸成（再掲：4-1）

「墨田区地域公共交通計画」P.76より抜粋

【今年度の重点的な取組】

目標 2 安全・安心で快適に移動できるまちにする

2 - 1 乗り継ぎしやすい環境づくり

主な取組

● バリアフリー化の推進

区全体のバリアフリー化の方針を示し、バリアフリーに関する考え方を共有するとともに、事業者や区民との連携・協力のもと、効果的な施策を展開するため、「バリアフリー法」に基づく「移動等円滑化促進方針」及び「バリアフリー基本構想」を令和7年度末に策定予定。

【令和7年度の主な取組】

- ・第1回バリアフリー推進協議会（4/14）
- ・まち歩き点検（5/27）



まち歩き点検の様様

2 - 2 情報技術を活用したシームレスな移動の実現

主な取組

● ホームページ等での情報提供の充実

区内の公共交通に関する情報を一元化したマップを作成する。鉄道駅、バス停に加え、シェアサイクルのポート等についても掲載する予定。乗換が分かりづらいターミナル駅等については詳細な位置関係を掲載するなど、利用者視点での充実を図る。マップは紙面及び電子版を作成し、電子版では定期的に情報を更新する。

【令和7年度の主な取組】

- ・作成委託事業者の選定（9月予定）
- ・利用者への頒布（令和8年3月予定）



（参考）沼津市公共交通deおでかけマップ
（出展：沼津市ホームページ）

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画（年度）						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12～R16	
バリアフリー化の推進	推進						区・交通事業者
ホームページ等での情報提供の充実	作成	情報提供					区

【今年度の重点的な取組】

目標3 誰にでもやさしい交通をつくる

3-2 新しい移動サービスの導入検討

(再掲：目標4 公共交通を地域で支える 4-2)

主な取組

● 官学連携による新しい移動サービスの導入検討

区内の高齢者に対する移動支援の一環として、グリーンスローモビリティの導入を検討する。導入においては、移動の支援だけではなく、高齢者の外出機会の創出や、社会参画の促進といった福祉的な効果も期待されることから、大学連携事業として千葉大学の知見も活用し、地域課題解決のための共同研究を実施する。今年度は区内でも高齢化率が著しく高く、千葉大学墨田サテライトキャンパスに隣接する文花団地周辺を研究のフィールドとして選定した。地域住民を対象としてグリーンスローモビリティの周知・啓発イベントや、公道を含めた実証実験（実証運行）を実施する予定。

【令和7年度の主な取組】

- ・グリーンスローモビリティ車両展示イベント（8月予定）
- ・介護予防普及啓発イベントへの出展（高齢者福祉課主催：9月予定）
- ・文花団地周辺実証実験（10月及び令和8年3月）



グリーンスローモビリティ試乗会の模様（令和7年3月実施）

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画（年度）						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12～R16	
官学連携による新しい移動サービスの導入検討	調査・研究・実証			導入検討		導入もしくは引き続き検討	区・交通事業者

【今年度の重点的な取組】

目標 4 公共交通を地域で支える

4 - 1 公共交通に対する意識の醸成

(再掲：目標 5 環境に配慮した交通に転換する 5 - 3)

主な取組

● 公共交通の利用促進の取組（モビリティ・マネジメント）

「すみだまつり・こどもまつり」において、区内循環バスの見直しに関する展示を予定。見直しのルート案等を提示し反応を伺うほか、公共交通に対する理解度を計るアンケートを実施し、交通の維持や存続について意識する機会を創出する。また、区内循環バスにより親しみを持ってもらうために、運行事業者の協力による運転士制服試着体験も実施予定。



(参考) 前年度の制服試着体験の模様

【令和 7 年度の主な取組】

・すみだまつり・こどもまつりへの出展（10月予定）

● 交通・環境教育の推進

両国小学校の教諭より依頼を受け、6年生の社会科における地方自治の分野で、今年度の区内循環バスの見直しを研究主題として扱うことに賛同し、区として資料提供等を行った。また、区職員が授業に参加し、児童たちの考える見直し案の発表を直接受けることで、今後も自発的に公共交通について考える契機とした。



区内循環バスを取り上げた授業の模様

【令和 7 年度の主な取組】

・両国小学校 6 年生の学習実施（6月）

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画（年度）						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12～R16	
公共交通の利用促進の取組 （モビリティ・マネジメント）	継続的に実施						区・地域公共交通活性化協議会
交通・環境教育の推進	継続的に実施						区・地域公共交通活性化協議会